



NEW

# 県立病院ニュース

～病院に関係する全ての人から信頼される病院を目指して～

新潟県

第173号 令和5年5月 病院局発行

開始!!

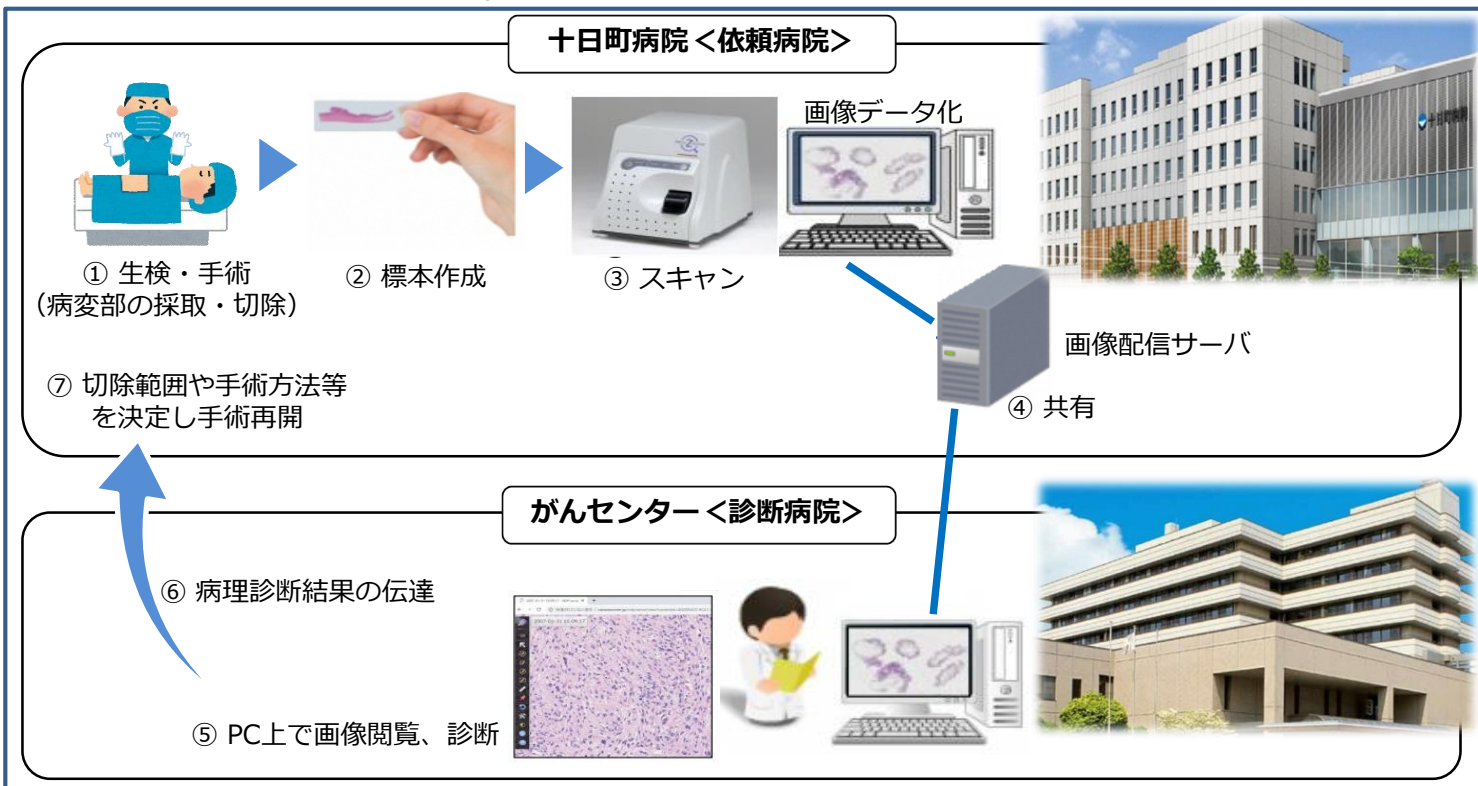
## 遠隔病理診断

～十日町・がんセンター間～

2023年3月に、通信回線を介して遠方の病理医が病理標本の観察・診断を行う遠隔病理診断が、十日町病院とがんセンターの間で導入されました。これは、病理医不在の十日町病院で、患者さんから採取した組織等を標本化し、画像データに変換した上で、がんセンターの病理医に伝送する仕組みです。がんセンターの病理医は、標本の画像データを観察し、診断結果を十日町病院へ返します。今回の導入により、十日町病院は、手術中に患者さんの組織を病理診断する「術中迅速病理診断」が可能となりました。（実施の流れは下図のとおり。）

全国的に病理医の確保が困難とされる中、こうした専門医不在の病院であっても、ICT技術を活用した病院間の連携により、患者さんへより良い医療サービスを提供することが可能となりました。

▼ 遠隔病理診断（術中迅速病理診断）実施の流れ ※診断日時は予め病院間で調整



### 術中迅速病理診断を実現！

術中迅速病理診断とは、がん治療の際、手術前の検査では確定診断がつかなかった場合などに、手術中に病変部から患者さんの組織を採取し、病理医が即時診断する診断法です。病理医不在の十日町病院では、これまで、術中迅速病理診断を要すると判断された症例の場合、診断環境が整備された医療機関を紹介してきました。その結果、十日町病院での手術を望む患者さんの希望に添えないケースが生じていたことから、

十日町病院で手術が行えるよう、今回、遠隔病理診断を導入し、術中迅速病理診断を実施できる体制を整えました。

▼ 遠隔病理診断導入前と導入後

導入前	導入後
<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 術中迅速病理診断が必要な患者さんは十日町病院から診断可能な医療機関へ転院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 術中迅速病理診断を実施 ⇒ 十日町病院での手術が可能に！</li> </ul>

## 本県県立病院では初の試み！

厚生連等ではすでに実施されている遠隔病理診断ですが、本県県立病院では初の試みのため、導入への道のりは決して平坦ではありませんでした。標本の作製や、画像データの送信を担当する十日町病院の鏡 臨床検査技師は「これまで当院になかった病理検査室の整備や、専用の検査機器、備品等の調達が必要でした。本当に何もなくてからの出発で、初めてのことばかりでした。それでも、色々な方々に協力してもらい何とか導入できました。感謝したいです。」と導入時の苦勞を語ってくれました。

## 安定運用のカギは「病院間の連携」！

安定運用のためには、十日町病院の臨床医、臨床検査技師、がんセンターの病理医間の連携が不可欠です。がんセンターの病理診断科川崎医師は「十日町病院の鏡さんとは、同じ職場で勤務した経験もあり、お互いをよく知っている仲です。連携に問題はありません。まずは、遠隔病理診断を軌道に乗せることに注力したいと思います。その後は、できる範囲で十日町病院からの要望に応じていきたいと考えています。」と頼もしい限りです。今後の安定運用にも期待が持てます。



### 十日町病院清崎副院長メッセージ

私が十日町病院に赴任した当時、大学病院では当たり前に行われていた診断が施行できない環境だったため、患者さんのご希望に添えない環境でした。

病理の先生がいらっしゃる病院においても安心してがんの手術をお受けいただくことが可能になり、遠隔地の病院でも患者さんに十分な医療を提供できる環境が整いました。システム構築にあたりご尽力いただきましたがんセンターの病理診断科川崎医師をはじめ関係者の皆様にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

## 岸本妙高病院長がへき地医療貢献者表彰を受賞されました

15年以上にわたり、山村・離島等の医療確保に尽力された医師を表彰する「へき地医療貢献者表彰」（全国自治体病院開設者協議会・全国自治体病院協議会主催）において、新潟県からは岸本秀文 妙高病院長が受賞されました。

### 岸本先生の地域医療への功績

平成元年から3年間は松代病院に勤務され、平成16年から現在まで約18年余り、妙高病院の院長を務められております。これまでの間、近隣病院や診療所等との医療連携を図るとともに、関係団体と顔の見える関係を築くことで、地域で支えあう医療・福祉・介護の構築に尽力されてきました。

また、住民の疾病予防、健康維持活動の促進のため、地域講演会の開催や、こども園、学校等の健診など、地元密着の医師として積極的に活動されるなど、住民が安心して暮らせるよう地域の医療を支えておられます。

表彰を受け岸本先生は、「今後も関係機関等と連携を図りながら、妙高の医療のために微力ながら努力していきたい」とおっしゃっていました。



▲山崎病院局長から表彰状を贈呈される岸本先生（右）